

発行者
久宝寺小学校区まちづくり協議会
会長 笠原 彰
久宝寺地区福祉委員会
委員長 佐野 公一
八尾市北久宝寺2丁目1番1号
電話 072-922-2233



許麻の里

沢辺に生ふる

かきつばた

若か手毎に

水やかかさん

いつまでも 心豊かに住み続けたいまち久宝寺を!! ~みんな一人ひとりがまちづくりの主役となって~

令和6年度福祉委員会の活動がスタートしました！
本号では、令和6年度の活動に向けての委員長と6部会長の抱負をお伝えすると共に、まちづくり協議会を含め、今年前半に実施しました主な行事や取り組みを紹介します。

♡皆さんの声と力を合わせて より住みよく楽しいまち 久宝寺を!

久宝寺地区福祉委員会
委員長 佐野 公一

日頃より、福祉委員会の活動にご理解とご支援を賜り、有難く篤くお礼を申し上げます。
コロナ禍の数年前は、何かと不自由で息苦しい暮らしを強いられました。昨年5月からは、新型コロナウイルス「5類」に移行し、今や「ウイズコロナ」の日常生活が定着した感があります。

福祉委員会の取り組みも何かと制約を受け心残りの活動となっていました。昨年度は、当初に計画した行事や活動を進めることができました。

とりわけ、久宝寺地区を挙げての恒例の「好きやねん久宝寺まつり」や「市民スポーツ祭」を4年ぶりに開催できましたのは、大きな喜びであり成果になりました。昨今は、人間関係が希薄になっていくと聞きますが、地域を挙げての行事や活動から、住民皆さまの絆や連帯が芽生えるものと考えます。

福祉委員会の行事や活動がきっかけとなり、お互いに楽しい思いや体験を共有し、それを積み重ねることに。より住みやすいまちづくりを目指してまいります。

本年度も、皆さんの声を集め、みんなが主役の取り組みを、関係団体と共に力を合わせて進めてまいります。

皆さんのご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

♡新年度にあたっての部長抱負(順不同)

♡明るく楽しく過ごせる ふれあいの場づくりを!

生活更生部会長 美濃 良博
新型コロナウイルス「5類」に移行して2年目を迎えます。今年度は、「好きやねん久宝寺まつり」「ひまわりの会」と園児との交流会や「障がい者の方への友愛訪問」などの活動に取り組めます。

また、来年3月には、生活更生部会として最も大きな行事として「障がい者を囲むふれあいまつり」を予定しており、部会委員の皆さんと共に取り組んでまいります。

福祉委員会の各部会・関係団体をはじめ地域の皆さまのご協力ご支援をいただきますようお願いいたします。

♡明るく楽しい久宝寺にしましょう!

青少年部会長 大下 信和

昨年度は、「好きやねん久宝寺まつり」「市民スポーツ祭」と久宝寺福祉委員会の大きな行事を無事に開催することができました。これも皆さまのあたたかいご支援とご協力があつたことと感謝を申し上げます。

今年度は、コロナ禍の前以上に明るく楽しい久宝寺になりますように頑張つてまいります。引き続き「好きやねん」中でも、部会にとつて一番の行事であります。

久宝寺まつり」も昨年度同様、盛大に開催したいと思えますので、今後共、ご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。

♡通常の部会活動がもどりました!

高齢者部会長 傍嶋 良享

令和5年度の高齢者部会の活動につきましては、「好きやねん久宝寺まつり」で河内音頭が中止になり、新たに久宝寺小学校の教職員の皆さんによる「バンド演奏」や「久宝寺少年剣道教室」にも出演をお願いして日本剣道「形と稽古」を披露していただきました。また、河内音頭に代わつて、「久宝寺音頭」をシニアサポート隊の皆さまが舞台で披露されました。

「ひまわりの会」「医療講座」は、関係部会との協力のもと予定通り、それぞれ12回と3回開催しました。

また、88歳以上の「高齢者友愛訪問」では、久宝寺出張所の協力のもと、各町会長と高齢クラブの皆さんと共に、お祝いの「海苔」を町会と高齢クラブを合わせて243個を、「敬老の日」にちなんでお配りしました。

令和6年度も「好きやねん久宝寺まつり」をはじめ、「ひまわりの会」、88歳以上の「高齢者友愛訪問」「医療講座」を、各部会と協力して実施します。

♡地域の皆さんをはじめ関係部会・団体と共に!

保健部会長 松山 和彦

この度、保健部会長に就任しました松山です。前松永部会長をはじめ、今迄の部会活動の成果を引き継ぎ、取り組んでまいりますのでよろしくお願ひします。

保健部会の主要行事に「献血活動」があります。本年度も9月に開催予定の「好きやねん久宝寺まつり」を機会に、久宝寺小学校で実施したく計画しています。

毎回多くの皆さんが献血にご協力をいただいています。本年度も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

また、「医療講座」の開催を3回計画するなど、「小・中学生との地域清掃」「中環清掃」「歳末地域一斉清掃」などの環境美化活動を、福祉委員会の皆さまと連携して実施します。

着任1年目として精一杯取り組んでまいれる所存です。で、皆さまのご支援ご協力をお願ひいたします。

♡笑顔の交流で絆づくり!

ポランティア部会長 宮地 文江

昨年の「給食サーブ」では、641名の皆さんに参加していただきました。

調理ができるまで、ジャズ演奏・三味線と民謡コンサート・河内音頭体操・手品・落語など、楽しい時間を過ごすことができました。

令和6年度も、心のこもつた給食をみんなで楽しくいただきながら、会話や笑顔の交流で絆づくりをしてまいります。

また、「花みずきの会」は、40歳以上の希望される方を対象に、1年間に5回開催しています。

川崎まゆみ先生のご指導で、リズムに合わせて身体と心をほぐしていただきます。今年のクラブは、道明洋子先生から教えていただきます。

♡より身近な広報活動と話し合いの場づくりを!

総務部会長 中島 茂

昨年度は4年ぶりに「何でも言わん会」を開催するなど、当初の計画通り取り組みを進めることができました。

コロナ禍を経て、人との接触が希薄になったといわれる中、今年度も、地域情報の提供と共有に向けて、機関紙「花みずき」「かきつばた」の発行やSNSの活用を注力すると共に、担当事業である「人権研修会・住民懇談会」や地域懇談会「何でも言わん会」を開催するなど、「学習・意見交換・話し合い」の「場づくり」に取り組んでまいります。

その他、「喫煙マナー向上啓発活動」なども含めて、部会委員の皆さまはもとより、関係部会・団体と連携し、幅広く地域の皆さまにご参画いただける活動を展開できればと考えています。

皆さまのご支援とご協力をお願ひ申し上げます。

♡今年前半に実施した主な行事

♡地域の皆さまでつくる「長瀬川桜まつり」

長瀬川桜まつり実行委員会委員 高尾 博
令和6年度の実砂町会恒例の「長瀬川桜まつり」が、近隣町会の皆さま、子ども会、育成会の方々、また、関係団体の協力を得て、3月30日に開催しました。

今年度の「長瀬川桜まつり」は、4月6日を予定していましたが、今年は桜の開花が早いとの予報があり、「桜まつり実行委員会」で検討した結果、予定より一週間早い3月30日に開催することになりました。

3月16日より、「ほんぼり提灯の点灯」と「俳句と川柳の短冊」が長瀬川沿いに飾られて、昼夜を通して趣を醸しました。

残念なのは、桜の開花には今一歩至らず、実施日前の一週間は継続的に風雨が続きましたが、当日は天候もよく暖かい絶好のお祭り日和で予想通りの人出となりました。

桜まつり名物の「せんざいとあべかわ餅の接待」で会場は賑わい、「クラブト・バールン遊び」、また、育成会による「ミルクせんべいのコーナー」では、子ども達も楽しんでいました。

今後も、「長瀬川桜まつり」を久宝寺地区の関係団体の協力と若い方々を中心に、伝統ある久宝寺地区の町会行事として育んでまいります。



桜の開花には今一歩至らず、実施日前の一週間は継続的に風雨が続きましたが、当日は天候もよく暖かい絶好のお祭り日和で予想通りの人出となりました。

4年ぶりに「何でも言わん会」を開催!
 久宝寺地区には、地域独自の話し合いの場として「何でも言わん会」があり、地域の皆さんの声をもとに、より住みよいまちづくりの糧にしていきたい。コロナ禍の間の中断を経て、4年ぶりに再開し、久宝寺地区のプロック毎に、今年2月から3月にかけて3回開催しました。



参加の皆さん一人ひとりから、各地域での取り組みや課題・ご提案など50件を超える意見をいただき、有意義な場となりました。紙面の関係上、以下に主なものを抜粋し要約いたします。

また、(一)に、席上で出された皆さんからのコメントや対応状況を記します。

- ◇環境・美化に関すること
 - ・桜の木にクビアカツヤカミキリが大量発生し、桜の木の状態について、いろんな意見をもらっている。現時点では、桜の木を伐採するしか方法がなく、苗木の植え替えを順次行っている。(対応状況を説明済み)
 - ・南久宝寺では住民が増え、交通事故などが心配。公園を町会で管理しているが、トイレ掃除やゴミ処理を続けている。高齢者が担って、頑張っているのか。
 - ・最近、空き地が増えていて、放置されている土地がある。
 - ・北府住のゴミ置き場に粗大ごみが回収されずに放置されており処置に困っている。(処置対応済) など
- ◇防犯・防災に関すること
 - ・高齢化が進む中、防災活動を今後どうしていくかを考えなくてはならない。
 - ・阪神淡路大震災を経験した。水道やガスなどインフラがとまり、備えていても苦しい日々だった。近隣の公園が避難箇所になっているが、はたして全員が避難できるのかなど対策を考えていきたい。今回「何でも言わん会」があるということ、防災のことに思いつき、持ち出し袋の整理をした。消火器の期限が切れていた。年度初めにでも確認するように一言助言が欲しい。
 - ・町会では、町会費で防災グッズを購入している。など
 - ◇安全・衛生に関すること
 - ・近鉄久宝寺の高架下の歩道が斜めになっていて危ない。(現場確認の上、八尾市担当部署に申し入れ)
 - ・ゴミ収集場所をカラスが荒らして困っている。(網や新聞等で目隠しをして出す工夫もある。)
 - ・南久宝寺が府道拡張工事で、工事車両等が増えてくる。

トンネルができれば抜け道でより車が増えるだろう。(計画説明を実施される予定になっている。)

南久宝寺トンネル入り口のガードが曲がっている。タパコのポイ捨てが多いので、朝とか拾ったりしている。ポイ捨て禁止のポスターが欲しい。

(ポスターなど啓発物品を提供済)

・放置自転車や産業廃棄物の処置は、どうすればよいか。(府道は八尾土木事務所、市道は八尾市土木管理事務所へ)

・野良猫による迷惑が多く困っている。

・「八尾猫の会」や、猫犬を引き取ってくれる保護団体もあるのを紹介します。

・中学校の西門付近の防犯灯が夜11時頃によく点く。タイマーをセットし直して欲しい。(対応済) など

◇子ども・高齢者に関すること

・南久宝寺一丁目第二公園(通称「くじら公園」)は、遊ぶ子どもが多く、遊び方によっては木が痛んだりボールがフェンスを越えたりして近隣に迷惑がかかり、対策に困っている。(対応の話し合いを実施)

《お願い》公園で遊ぶときは、ルールを守って! 美しいまちは犯罪も少なく、子どもの問題も少ない。地域は高齢化しているが、高齢者でもできることを前向きにやっていきたい。

◇町会・福祉委員会活動に関すること

・町会では、高齢化が問題になっている。

・町会を盛り上げるのに、まつりなどの行事は大切に思う。

・町会で班長会議をしているが、班長会議に出席する中で、「地域愛」ができてきているように思う。

また、子ども会にも班長会議に出席していただき未来の担い手を増やしている。

町会費で5年分の水を備蓄しており、3年たったら住民に配る防災対策をしている。

近隣の人で、名前もわからない方がおられるので、紹介の場をつくってほしい。

(住民同士のコミュニケーションが大事に思う。)

ファミリ層の多い町会だが、シニア世代の方に役員に入ってもらいたくことで、シニア世代の参加が増えた。

町会に限らずいろいろな世代の方を入れると、目標も変わり、活動の幅が増えるのではないかと、目標の良いものではないか。

各町会の交流の場などをつくってはどうか。

他のたくさんの方の声を含め、「何でも言わん会」で話し合われたことや出されたご意見ご要望は、今後の福祉委員会や自治振興委員会の活動に活かしてまいります。ご参加いただいた皆さまに篤くお礼を申し上げます。

日常生活のわたし・あなた・みんな

「人権研修会」を開催!

多様化している社会において、意見、考えや価値観は、今まで以上に人それぞれ違ってきています。一方、人は、それぞれの立場をもちながら多くの人と関わりながら生活を送っています。

このような中で、対立を恐れず、相手を傷つけないコミュニケーションの在り方を学びました。

3月2日(土) 10時から久宝寺コミュニティセンターで、NPO法人エンパワメント堺/ES代表理事 北野真由美氏をお招きし、「誰一人取り残さない人権尊重」をテーマにご講演をいただきました。「人権って何だろう」「様々な力関係の中で」「ふつうであること」「感情の扱い・気持ちを理解すること」などの話題を中心に、ワークシートによるグループ討議を交えて、人間関係づくりについてお話いただきました。

人と人との関係性についてのいろんな気づきと、人との関わりの中での自分自身の些細な心の動きを意識し、振り返ることの大切さを学びました。



「障がい者を囲むふれあいまつり」を開催しました!
 コロナ禍が明け、昨年に続き、3月17日(日) 11時からコミュニティセンターで、生活更生部会が主催し、「障がい者を囲むふれあいまつり」が開催されました。

今回は、冒頭に、「ふれあいと災害時について」をテーマに、平素からの心の準備とイザの時の対応に備えて当事者の皆さまはもとより地域での助け合いの大切さのお話がありました。

続いて、「懇談会」「からだをほぐす体操」「茶話会」のプログラムで交流を深め、そして最後には、「ハーモニカ演奏と歌」を皆さんで楽しく過ごしました。

障がい者やひとり暮らしの高齢者の方は、往々にして外出の機会や、人とのふれあいと話し合い、笑い合える機会が少なくなりがちです。

この度の集いが、そのようなことを解消する一助の場になれば幸いです。



「障がい者を囲むふれあいまつり」を開催しました!
 コロナ禍が明け、昨年に続き、3月17日(日) 11時からコミュニティセンターで、生活更生部会が主催し、「障がい者を囲むふれあいまつり」が開催されました。

今回は、冒頭に、「ふれあいと災害時について」をテーマに、平素からの心の準備とイザの時の対応に備えて当事者の皆さまはもとより地域での助け合いの大切さのお話がありました。

続いて、「懇談会」「からだをほぐす体操」「茶話会」のプログラムで交流を深め、そして最後には、「ハーモニカ演奏と歌」を皆さんで楽しく過ごしました。

障がい者やひとり暮らしの高齢者の方は、往々にして外出の機会や、人とのふれあいと話し合い、笑い合える機会が少なくなりがちです。

この度の集いが、そのようなことを解消する一助の場になれば幸いです。

広いグラウンドで遊びました「校庭開放」!
 今年に入り、3月9日と5月11日午前中の2回、久宝寺小学校グラウンドで、自治振興委員会や関係団体の協力のもと、久宝寺小学校PTAの主催で「校庭開放」を実施しました。

両日とも天候に恵まれ、それぞれ117名、201名の子も遠が、大縄跳び、ドッジボールやゴム跳びなどで、グラウンドいっぱい元気に遊びました。

中でも、5月11日は曇りつつない快晴で、まるで初夏のような天候に恵まれました。

急遽、休憩と暑さ防止のための散水ホースでのシャワータイムを設け、子ども達は、普段なかなかできない体験にはしやぎ合い、笑い合っていました。

安心して遊べる場の提供で、思う存分楽しみな子ども達も遠同志の交流が図れた「校庭開放」になりました。



創立150周年を記念して「桜の木」を寄贈!
 昨年、久宝寺小学校は創立150周年を迎え、12月3日に記念式典が催されました。

これを機に、久宝寺地区福祉委員会から「桜の木」を寄贈し、今年1月9日の始業式の後、西校舎玄関の向かって右側の植え込みで、その植樹式が行われました。

「桜の木」は、ソメイヨシノで早ければ2年ほどで、花をつけるということですが、子ども達と共に、すくすくと育つて、一日も早く満開の花を咲かすのを待つばかりです。



♡福祉委員会では、久宝寺小学校区まちづくり協議会のホームページやFacebookを活用して、それぞれの行事や活動をお知らせしています。

下のQRコードでアクセスしてご覧ください。

